

心に残る文化財子ども塾 大田市立久屋小学校

1. 活動の概要

6月2日(木)、大田市立久屋小学校に伺いました。はじめに、島根の歴史文化にふれてもらうため、銅剣や銅鐸といったレプリカを見せながら青銅器の話をしました。その後、「奈良の大仏の巨大さと、込められた思い」をテーマに、奈良の大仏の実物大パネルを組み立てました。大仏パネルが完成した記念撮影を行い、大仏造営当時の様子を説明しました。最後にみんなで大仏開眼供養の再現を行い、終了しました。

2. 活動の様子



↑ 体育館の床一面に散らばった大仏パネルをみんなで協力しながら作成します。



↑ 大仏パネルの完成！

3. 活動を終えて

① 児童の皆さんから

- ・実物の大仏の大きさに驚いた。
- ・実物大の大仏パネルをみんなで協力して作ることができて、良かった。
- ・青銅器のレプリカを触ることができて、心に残った。
- ・土器や銅鐸の作り方などを知ることができたらうれしい。

② 担任の先生から

- ・大仏パネルを組み立てることで当時の歴史や大仏建立の意義が分かった。
- ・島根の歴史についてのお話を聞くことで、子どもが歴史を身近に感じ、興味を持つことができた。
- ・大仏や聖武天皇についてのクイズ等のコーナーがあると、更に深められると思う。

③ 古代出雲歴史博物館から

大仏パネルの完成後、実物の大きさを実感した生徒の皆さんからは、「予想していた以上に大きくてびっくりした」などといったスケールの大きさに対する驚きの声を聴くことができました。生徒の数が少なかったこともあり、大仏パネルの完成まで若干時間がかかりましたが、生徒の皆さんの協力で完成することができました。ただ、時間の都合で大仏に関するクイズを大幅に短縮することになってしまいました。生徒の人数に合わせて柔軟に時間配分を考えていく必要があると思いました。